



ゆうすい NEWS No.42

平成 24 年 2012. 11. 15 発行



題字:大岡 信氏(詩人)

三島ゆうすい会事務局 〒411-0037 静岡県三島市泉町 5-3
Fax 055-975-6516 E-mail info@yusui.org
URL <http://www.yusui.org/>
※事務局員は常駐しません。
E-mail や Fax で、ご連絡いただけると助かります。

小水力発電装置「ピコピカ」を「宮さんの川」脇水路に設置



塚田邸の広い庭に、三島ゆうすい会関係者ほか、泉町子供会と広小路子供会の児童や保護者、そして応援の家族が多数集まりました。今話題の小水力発電装置「ピコピカ」を組み立て、設置するためです。子どもたちは、プラスのドライバーを持参。塚田冷子会長の設置の意義を含めた挨拶につづき、平林紘治理事、大村皖伸理事の指導で作業を開始。テレビ局や新聞社等3社が熱心に取材していきました。

9月9日(日)9:00~12:00、残暑の厳しい好天の下、初の小水力発電装置の設置を試みました。子どもたちは興味を持って、とても熱心に作業をしてくれました。

三島ゆうすい会版『大きなかぶ』のお話よろしく、不慣れなドライバーでの組み立て作業を、男の子、女の子、父親、母親の順に、家族総出の協力体制で完成させました。装置を水路に取り付けLEDランプが点灯した時には、みんな拍手と大歓声をあげ感激していました。

この発電装置の出力はほんの数ワットの小さなものですが、小水力発電への関心を引き起こし、再生可能エネルギーに対する啓蒙活動へのキッカケとして、大いに活用されるものと思われます。また、小学校からの見学など、学校教育に生かされることも期待しています。



三島ゆうすい会理事の説明後、男児、女児、父親、母親の順でピコピカの組み立て開始！



設置場所も皆で清掃し準備万端。後日、本設置作業を完了。



点灯するのかドキドキ！大成功！今は途切れなく、エコ照明が一隅を照らしています。

小水力発電装置「ピコピカ」視察（岐阜県恵那市）



8月1日（水）、塚田冷子会長、秋山峰治副会長、大村洋子事務局長、中西康徳理事、平林紘治理事、柴原俊介理事、大村皖伸理事の7人で岐阜県恵那市へ行き、小水力発電装置「ピコピカ」の設置状況確認をしてきました。

「ピコピカ」は恵那市のNPO法人「地球の未来」が開発した発電装置で、恵那文化センターの2基と長島小学校の1基の様子を、同法人の駒宮遊さんに案内してもらいました。三島から恵那までは片道およそ300kmで、往復、名ドライバーの秋山さん運転の日帰り視察です。

恵那文化センター前の側溝や長島小学校の排水路の「ピコピカ」の様子を見て、一同「この水量で発電できるなら三島でも問題はなかろう。ぜひ設置したい」と思いました。長島小学校には、ほたるの小屋があって、こちらにも皆で熱心に見学しました。



「錦秋の信濃路・小水力発電所視察と湧水を訪ねて」

三島ゆうすい会主催：視察研修旅行 2012年10月22日～23日

山梨県都留市役所と小水力発電「元気くん1号」（開放型下掛け水車・出力20kW）を背景に記念撮影



清々しい秋晴れの朝、塚田邸を偶然訪れた愛らしいカワセミに見送られ、10月22日（月）7時に、15名は、長野県、山梨県の1泊2日の視察研修に出発した。紅葉の美しい信濃路の秋を満喫しつつ、小水力発電所等の視察のほか、湧水や歴史文化にもふれ、さらに親睦も深めてきた。



◆1日目（10月22日・月曜日）：三島市・塚田邸→蓼科高原→長野県茅野市の三峰川電力蓼科発電所視察→白樺湖→『無言館』→塩田平散策→信州・上田市・別所温泉『朝日館』（宿泊）

◆2日目（10月23日・火曜日）：宿→安曇野・大王わさび農場→山梨県都留市の家中川小水力発電所（『元気くん1～3号』）視察→河口湖→三島市・塚田邸

参加者名簿の順番：塚田冷子、秋山峰治、綾部訓子、岩田重理、江藤 聖（三島市役所職員）、大村皖伸、大村洋子、小松幸子、佐伯忠夫、島崎禮次、鈴木義郎、中西康徳、平林紘治、山岡修一（コーディネーター）、古田道治（バスのドライバー）



「この水力発電用の小川は、機械が落ち葉取りをしているけれど、最後の最後は手動。「宮さんの川」で私たちは、最初から最後まで手動でゴミ取りをしています」と塚田冷子会長。

三峰川電力蓼科発電所は、長野県中部の八ヶ岳連峰の西麓にある茅野市蓼科高原を流れる小斉川の農業用水を、発電用水として使用する小水力発電所。昭和29（1954）年に蓼科の有志が建設したが、老朽化や維持管理の負担問題等で平成19（2007）年に運転休止していた。

平成23（2011）年に、環境負荷を最小限にした再生工事を行い、観光地に配慮した低騒音、景観配慮の発電所・発電設備となっている。新生蓼科発電所は、最大出力260kW、年間211万kWhを発電し、発電所が所在する茅野市で消費される地産地消型発電所。水車の種類はフランシス式で、皆、伊藤修一課長（上写真）の説明に、質疑を交えつつ聴き入っていた。

山梨県都留市の家中川小水力発電所「元気くん1号」は、平成18（2006）年、2号は平成22（2010）年、3号は平成24（2012）年から稼働。有効落差は、2.0m、3.5m、1.0m。総建設費は、約4千万円、約6千万円、約3千6百万円で、山梨県地域クリーンエネルギー導入促進事業費等のほか、市民公募債「つるのおんがえし債」も活用。電力は市役所等で使用するほか、余れば売電もしている。

「三島だったら、大場川の上岩崎公園や、桜川の御殿川への落差を利用できないだろうか」等、意見が次々と出た。

東京からの視察者と「元気くん2号」（開放型上掛け水車・出力19kW）の説明を聞く「三島ゆうすい会」会員



「元気くん3号」（開放型らせん水車・出力7.3kW）の近くに設置された説明板

山岡修一顧問企画の視察研修旅行は、「無言館」見学、塩田平散策、信州の鎌倉・上田の別所温泉、安曇野のわさび農場見学等が加わり、さらに充実した、一味違う旅になりました。



小水力発電実務研修会 報告会



9月20日(木)、三島市民活動センターで「小水力発電実務研修会」の報告会がありました。平林紘治理事と大村皖伸理事は、5月25日～26日の研修時の資料から配布用資料を作成し、分かりやすく解説しながら説明しました。

ただ、いざ、小水力発電を始めようとすると、関係省庁等々への提出書類も多く、建設費もかかるとのこと。しかし、参加者は、小水力発電への興味をさらに膨らませ、秋の視察研修を楽しみにしているようでした。

塚田冷子会長、西小で道德の授業



10月12日(金)、塚田冷子会長は、三島市立西小学校3年生35人の2時限目の道德の授業に招かれました。昔と今の写真を見せながら、三島の自然の素晴らしさを伝え、人任せにするのではなく、大変でも毎日川掃除をして、ホタルやミシマバイカモを守っていることを、児童に話しました。

ティム・ドナヒューさんのチャリティーコンサート 収益金を東日本復興支援にと「三島ゆうすい会」に贈呈

7月2日(月)に、グローバル文化交流協会(GIA)主催の東日本大震災支援チャリティーコンサート『心をむすんで』が、みしまプラザホテルで開催されました。アメリカ人ミュージシャンのティム・ドナヒューさんのフレットレスギターと歌、応援に駆け付けたプロのドラム演奏等に、会場いっぱいの聴衆は終始惹き込まれ、素晴らしいコンサートを堪能しました。収益金の214,000円は、東日本大震災被災地のために生かしてほしいと、福井善徳GIA会長から塚田冷子三島ゆうすい会会長に託されました。



塚田冷子会長は、GIAと、ティム・ドナヒューさん、応援演奏の方々、大勢の聴衆、そしてホテルの方々へ、心からお礼の言葉を述べました。つづいて、東日本大震災支援に関する三島ゆうすい会のそれまでの取り組みと、今後の予定について語りました。

14回も被災地支援に行っている山岡修一顧問の話を引用し、収益金の使途を伝えました。仮設住宅団地は、隣近所が見ず知らずの人だったり、生きる目標を失い引きこもってしまったり、話し相手がいらない人などが多く、雛のつるし飾りを作る手仕事を紹介して実施したところ、「久しぶりに笑えた」「手仕事をすると、嫌なことが忘れられる」「お友だちができた」と大喜びだったそうで、今回も、それらのために生かしてほしいと述べました。

後日、GIAには山岡修一顧問が「延べ100人近くの被災者が、明るい雰囲気の中で笑いに包まれて手仕事をしました」と、写真を交えて詳しい実施報告をし、温かな支援に感謝しました。

女優・藤田弓子さんから、演劇のチケットの贈り物

6月15日(金)に、名誉顧問で女優の藤田弓子さんから連絡があり、日頃お世話になっているのと、演劇『私の彼がゲバラ?』のチケットを三島ゆうすい会に贈呈してくださいました。

6月23日(土)、24日(日)の都合の付く日に、会員が知人と共に楽しませていただき、多くの人々から感謝の言葉が寄せられました。藤田弓子さん、どうもありがとうございました。



平成25(2013)年度の初春・早春の行事予定

ななくさがゆ
「七草粥とわらべ唄のつどい」

来たる平成 25 (2013) 年のみなさまの健康を願って、恒例の「七草粥とわらべ唄のつどい」を開催します。参加費は無料。多数お誘いあつてお出掛けください。参加者は、懐かしいわらべ唄を聞きながら、七草粥を召し上がれます。また、一緒に歌う機会もあります。(写真は、平成 24 年 1 月 7 日に撮影したもの)

日 時：平成 25 (2013) 年 1 月 7 日 (月)

午前 11:30～午後 12:30

会 場：塚田医院の庭 (宮さんの川の最上流部近く)

主 催：三島ゆうすい会、ふるさとの唄を楽しむ会

協 力：コールロベリア

お問い合わせ：秋山峰治

携帯電話 090-3937-3018

平成 25 (2013) 年度
第 22 回三島ゆうすい会総会

平成 24 年度
の総会
風景より

平成 25 (2013) 年度の総会を開催の予定です。講演会は、会員以外の方の参加も大歓迎です。

日 時：平成 25 年 3 月 2 日 (土)

総 会 16:00～16:50 (会員のみのみ)

講演会 17:00～18:00

演題、講師、交渉中

懇親会 18:15～20:00 (懇親会費 3,000 円)

会 場：V i a 7 0 1 1F ホール

(三島広小路駅より徒歩約 2 分)

※近くなりましたら、ご案内状を改めて郵送させていただきます。詳細は、そちらをご覧ください。

メキシコからの日本大学留学生・塚田邸でホタルの幼虫観察



9 月 12 日 (水)、来日してすぐ三島を訪れたメキシコのケニヤ・マリアン・イバラ・プラダルさんは、その日、ホストファミリーと水辺散策途中に塚田邸にも立ち寄り、ホタルの幼虫を観察。「ホタルの飛ぶ季節が楽しみ」と語って、1 年間の留学生生活をスタート。また、塚田冷子会長の毎朝の川掃除にも感心していました。

定例活動のお知らせ

- ★いずれの定例活動も、自由参加です。
- ★雨天の時は、原則として休みです。

源兵衛川のいずみ橋から
広瀬橋までのゴミ拾いなど

- ・原則毎週土・日曜日の朝 6:30～
- ・源兵衛川いずみ橋へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋、ゴミを入れる袋等

源兵衛川の清掃

- ・原則毎月第 2 日曜日 10:00～
- ・水の苑緑地・かわせみ橋へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋
- ※「源兵衛川を愛する会」とともに、清掃します。

桜川清掃

- ・原則毎月第 1 土曜日 10:00～
- ・白滝公園へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋
- ※「桜川を愛する会」とともに、清掃します。

宮さんの川の清掃

- ・原則 毎朝 6:30～
- ・宮さんの川へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋
- ※「宮さんの川を守る会」とともに、清掃します。

「三島梅花藻の里」で

ミシマバイカモ保全活動

- ・原則毎月第 2 日曜日 10:00～
- ・三島梅花藻の里へ集合
- ・持ち物：長靴、ビニール手袋、草取り道具等

ご寄付のお礼

ご支援、ご協力に対しまして、心より感謝申し上げます。

★ 高橋 佳代子 様

会費納入のお願い

本年度分会費の納入にご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- ★正会費 3,000 円
- ★賛助会費 1 口 10,000 円 (何口でも可)

※下記のいずれかに納入してください。

〈お振込み先〉

・郵便振替 0840-4-118192

加入者名：三島ゆうすい会

・静岡銀行三島支店

普通預金 No.0346532

口座名：三島ゆうすい会

会長 塚田冷子

・スルガ銀行三島セントラル支店

普通預金 No.572969

口座名：三島ゆうすい会

会長 塚田冷子

・三島信用金庫西支店

普通預金 No.1042399

口座名：三島ゆうすい会

会長 塚田冷子